



申24号 竜王駅の駅業務体制見直し及び 「話せる指定席券売機」の導入に関する申し入れ 団体交渉(4月8日)開催 その3

5. 竜王駅は構内作業が多岐に渡ることから安全を考慮し、助勤体制の解消を行うこと。

(会社回答) 効率的な要員運用を前提に人員を配置しているところであり、助勤制度については今後も継続していくが、業務実態に応じて見直すこともある。

(組合) 業務実態に応じて見直すとは具体的にどういうことか。

(会社) 将来的にエリアの考え方が変わればそれに合わせて変更することもある。

(組合) 標準数6で在勤指定6名となっているがなぜ助勤が必要になるのか。

(会社) 出張や研修が入るため。

(組合) 竜王駅の作業は多岐に渡るので、安全確保の観点から助勤ではなく在勤指定を増やし、竜王駅業務の技術継承ができる体制を確立するべきだ。

(会社) 助勤制度に基づき要員配置を行う考えに変わりはない。

(組合) 異動等により在勤指定が6名を下回ることはあるのか。

(会社) 在勤指定が6名を下回るとは一時的にもない。

会社

多様な経験を積んで社員の成長を図る観点もあり、今後も助勤を行っていく。

対立

組合

安全第一の観点から、在勤指定を増し、竜王駅メインで業務を行う体制が必要である。

将来的にエリアの考え方が変わる可能性もあることが判明